



第19回全日本パラ空手道競技大会
大会実施要項
＜公益財団法人 全日本空手道連盟＞

1. 大会名 第19回全日本パラ空手道競技大会（旧大会名：全日本障がい者空手道競技大会）
2. 主催 公益財団法人 全日本空手道連盟
3. 後援 スポーツ庁 厚生労働省 （公財）日本スポーツ協会
（予定）（公財）日本オリンピック委員会 （公財）日本武道館 日本武道協議会
（公財）日本パラスポーツ協会 東京都 足立区 （公財）東京都体育協会
月刊空手道マガジン JKFan
4. 日時 令和5年8月5日（土）
選手集合 12：30
開始式 13：30～13：40
競技開始 13：40～16：00
閉会宣言 16：00
5. 場所 東京武道館
〒120-0005 東京都足立区綾瀬3-20-1
電話 03-5697-2111
6. 種目
- (1) 形競技 男子・女子個人戦
クラス1 肢体不自由(上肢障がい)
クラス2 肢体不自由(上下肢・体幹障がい)
クラス3 車椅子
クラス4 視覚障がい
クラス5 聴覚障がい
クラス6 知的障がい
- (2) 組手競技 男子・女子個人戦
クラス1 肢体不自由(上肢障がい)
クラス2 肢体不自由(上下肢・体幹障がい)
クラス3 車椅子
クラス4 視覚障がい
クラス5 聴覚障がい
クラス6 知的障がい

＜注＞ 各種目のクラス分けについて（細かい区分については別紙1参照）

※申込者数によってクラス分けを調整する場合がある。

- ① 障がいを各クラスに分けた上で、障がい部位、障がいにより細分し、それぞれのクラスで男女別・年齢別に分けて実施する。
- ② 年齢（令和5年4月1日現在）は次の区分に分けて競技するものとする。

KARATE WEEK

- A. 10～12 歳 B. 13 歳～15 歳 C. 16 歳～20 歳
D. 21 歳～39 歳 E. 40 歳～65 歳 F. 65 歳以上（形競技のみ）
- ③ 障がい複数あり、それぞれのクラスで出場が可能である場合でも、参加できるのは一つのみとする。複数のクラスにまたがった申し込みは認めない。
- ④ 申し込み後にクラスを変えての参加は認めない。
- ⑤ 組手競技のクラス6については、申込みがあっても障がいの程度により出場できない場合がある。

7. 競技規定

- (1) 競技は、(公財)全日本空手道連盟競技規定に準拠して行う。
- (2) 形競技個人戦
- ア. トーナメント方式で1名ずつ行う。
- イ. 3位決定戦は行わない。
- ウ. 勝敗は得点により決定する。
ただし、必要に応じ、審判員が協議して決定する場合もある。
- エ. 形は自由選択とする。
また、各自の身体機能を考慮し、創意工夫により形の内容を適宜改変することを認める（必ずしも規定の形どおりでなくともよい）。
- オ. 初戦から決勝まで同じ形を繰り返し演武できる。
- (3) 組手競技個人戦
- ア. トーナメント方式で行う。
- イ. 3位決定戦は行わない。
- ウ. 競技時間は2分間フルタイムとする。
- エ. 勝敗は、競技時間内に6ポイント差が生じた時点又は競技終了時点で、得点の多い選手を勝ちとする。同点の場合は先に得点（先取）した選手を勝ちとし、先取が無い場合は審判員5名の旗判定により勝者を決定する。
- (4) 安全具
- ア. 組手全種目の競技において、全空連検定拳サポーター、同メンホー（ミズノNo.6・7）、マウスシールド（メンホー口元に装着する）及びボディプロテクター、全空連またはWKF検定のインステップガード、シンガードを装着すること。また、男子選手（車椅子使用の競技を除く）は、ファウルカップを必ず装着すること。
- イ. 安全具・帯（赤、青）は各自において用意し、安全具装着のない選手は参加できないので、充分注意すること。
- (5) 服 装
- ア. 監督・コーチ等
- ① 白の空手着を着用すること。但し、介助者はこの限りでない。
- ② 監督・コーチ・介助者は、IDカードを明示すること（IDカードは、大会当日、選手受付時に交付する）。
- イ. 選 手
- ① 競技規定に沿った白の空手着を着用すること。胸マークは自由とする。
- ② 金属類のヘアバンド等の装着は認めない。
- ③ 形競技での補装具の装着を認める。
- ④ 組手競技での補装具は、事前にクラス別に安全を確認されたものについてのみ、その装着を認める。
- ウ. 審判員
- ① 全空連審判員規定の服装による。

KARATE WEEK

エ. 介助者

- ① 大会当日に入場口で付与された ID カード、ビブスを着用。

8. 表彰

形・組手ベスト 8 以上進出選手を以下の通り表彰する。

- (1) 種目別、同一クラスごとに第 1 位、第 2 位、第 3 位（2 名）、第 5 位（4 名）の選手にメダルを授与する。
(2) 表彰はクラスごとに競技終了後順次行う。
(3) 参加者全員に参加賞を授与する。

9. 監督会議

オンライン会議

令和 5 年 7 月 28 日（金）19:00～20:30

※全中大会、体重別大会、パラ競技大会、全少大会の順に説明を行う

10. 審判団

- (1) 大会審判団は、(公財)全日本空手道連盟公認審判員により編成される。

11. 出場資格

(1) 選手

- ア. 令和 5 年 4 月 1 日現在、10 歳以上の身体障がい者及び知的障がい者（平成 25 年 4 月 1 日以前に生まれた者）とする。
イ. 身体障がい者は身体障害者福祉法（昭和 24 年法律第 283 号）第 15 条の規程により、身体障害手帳の交付を受けた者。
ウ. 知的障がい者は厚生事務次官（昭和 48 年 9 月 27 日厚生省児第 156 号）による療育手帳の交付を受けた者。
エ. 各都道府県連盟が出場を認めた者であること。
オ. (公財)全日本空手道連盟会員であること。
カ. 「JKF 会員マイページ」に登録をしていること。

(全空連の会員登録だけでは JKF 会員マイページ登録をしたことにはならない)

※申請時に会員登録・JKF 会員マイページ登録が完了していない場合は出場できない。

《マイページ登録問合せ先》

- ・全空連ホームページお問合せフォーム
- ・TEL: 0120-15-6003 (10 時～16 時 土日祝日も対応)

※令和 5 年 4 月 1 日現在で 10 歳未満の者はいかなる場合も出場を認めない。



全空連マイページ QR コード

(2) 監督・コーチ（各 1 名まで可）

- ア. (公財)全日本空手道連盟会員であること。
イ. 公益財団法人日本スポーツ協会公認空手道コーチ 1 以上又は都道府県審判員（

KARATE WEEK

組手、形のどちらか又は両方)以上の資格を有する者。「JKF 会員マイページ」に登録済のこと。

- (3) 介助者(選手1名に対し1名まで可)
選手の出場に際して、介助者を伴うことを認める。(資格は問わない)
監督・コーチを代行する介助者は、プロフィール用紙【別紙4】にチェックを入れること。

12. 出場申込み

※大会エントリーは web 申し込みのみ

- (1) 同一者が、形と組手の両方の競技に参加することを認める。
(2) 出場費は、1種目につき5,000円とする。
各都道府県連盟の大会担当者が出場種目数の合計額を一括で支払う。
(3) 提出書類は各都道府県連盟(大会担当者)がとりまとめ一括で郵送すること。
選手個人からの申込は受けつけない。

〒135-8538 東京都江東区辰巳1-1-20 日本空手道会館
公益財団法人 全日本空手道連盟事務局(担当 加藤弘美)

13. 申込み期間 令和5年5月8日(月)～6月5日(月)必着 締切り日厳守

14. 健康・安全管理

- (1) 大会期間中の傷害保険は、主催者側が参加選手全員に主催者負担で加入手続きをする。
(2) 出場に際しては、医師の診断を受けるなど、自己の責任において健康と安全に充分留意すること。
(3) 大会会場においては、応急措置を行うが、症状により救急病院での診察治療も必要となることも考慮し、選手は健康保険証、身体障害者手帳及び療育手帳等(愛の手帳、愛護帳、みどりの手帳)、治療に要するものを必ず携行すること。

15. 宿泊等について

- (1) 交通費、宿泊費は自己負担とする。
(2) 大会中の諸連絡及び不測の事態の際に連絡を徹底するため、後日案内の指定旅行業者による幹旋宿泊施設及び大会専用弁当の注文を利用すること。(各自持ち込みの発生ゴミは全て持ち帰りとします。)

16. 肖像権について

本大会はYoutubeにてライブ配信することを予定している。観戦できない関係者にもその案内を出すことを予定している。これらの事情から、肖像権の取り扱いについて下記の通りとする。

- (1) 公益財団法人全日本空手道連盟が認めたライブ配信業者等によって撮影された映像が、中継・録画放映及びインターネットにより配信されることがある。
(2) インターネットのライブ配信に際して、個人情報(氏名、所属など)、大会記録等を公表することがある。
(3) 本大会参加申し込みにより、上記(1)(2)の取り扱いに関する承諾はいただいたものとして対応する。

17. その他

- (1) ゼッケンは全空連で作成し、各都道府県連盟宛に7月上旬までに送付する。各連盟はゼツ

KARATE WEEK

- ケンを査収の上、各選手に確実に配布すること。
- (2) 選手は開始式、表彰式、閉会式には必ず参加すること。
 - (3) 各クラスを等級により細分化しないので、公平性を担保するために申し合わせ事項を定めることができる。

18. 問い合わせ先

問い合わせに際しては、「宿泊・弁当・アクセス」に関する指定旅行業者宛のものを除いて、都道府県空手道連盟の担当者がおこなうこと。

(1) 要項及び参加申込について	全日本空手道連盟 企画業務課 岡崎 紀創 TEL : 03-5534-1951 E-mail : k-okazaki@jkf.jp
(2) 宿泊・弁当・アクセスについて	近畿日本ツーリスト株式会社 法人第1支店 〒101-0024 東京都千代田区神田和泉町1-13 住友商事神田和泉町ビル 12階 担当：春山 TEL : 03-6891-9301 FAX : 03-6891-9401

※宿泊申し込みは4月20日から開始いたします。申し込み手順については後日お知らせします。

19. 東京武道館の利用に関して、以下の行為を禁止する

- ◆観覧席確保のために、大会前日から東京武道館入口周辺にガムテープを使用してブルーシート等を貼って場所取りをし、飲酒すること。
(出場選手関係者の飲酒が発覚した場合は、所属都道府県役員及び関係者の入館をお断りさせていただきます場合があります。またコンクリート面へのガムテープの使用は禁止されておりますので、絶対に使用しないで下さい)
- ◆大会当日に東京武道館敷地内ならびに周辺の公園等で練習を行うこと（館外での練習は終日禁止）。
- ◆館内にくつを直に持ち込むこと
(必ずくつ袋に入れてから入館すること。くつ袋は各自で準備すること。全空連では配布しない)
- ◆観客席及び練習場等に縄を張ったり、荷物等を置いたりして占拠すること。
また大会初日終了後に荷物を観客席に置いて帰ること。
- ◆東京武道館周辺に一般車及びバスの駐車をすること
(バスを利用する場合は、別添資料にある駐車場案内図を参照の上当該駐車場に直接相談すること。なおバスによる乗降の場所は綾瀬駅前を利用すること)。
- ◆館内通路等において、ブルーシート等での場所取りや座り込みを行うなど、救急搬送の対応や有事の際に安全な大会運営に支障をきたす行為を禁止する。

申し合わせ事項1

クラス4に出場する選手はアイマスク(全空連が用意)の着用を義務付ける。

※その他の申し合わせ事項は順次お知らせする

以上
別紙1

競技区分

KARATE WEEK

【障害区分】

- クラス1 肢体不自由（上肢障がい）
- クラス2 肢体不自由（上下肢・体幹障がい）
- クラス3 車椅子
- クラス4 視覚障がい
- クラス5 聴覚障がい
- クラス6 知的障がい

【年齢区分】

- A. 10～12歳
- B. 13歳～15歳
- C. 16歳～20歳
- D. 21歳～39歳
- E. 40歳～65歳
- F. 65歳以上（形競技のみ）

※年齢は令和5年4月1日現在

※形競技については出場年齢区分の上限を設けない。

※競技区分表については監督・コーチ・介護者のみ参照。

※申込者数によって年齢区分を調整する場合があります。

東京武道館 来館の注意点



※できる限り公共交通機関での来場をお願いします。

KARATE WEEK

○電車をご利用の場合

J R 山手線・京浜東北線「西日暮里」駅乗換え

東京メトロ千代田線「綾瀬」駅東口下車徒歩5分（東綾瀬公園内をお通りください。）

○車をご利用の場合

※東京武道館周辺道路、私有地は駐車禁止です。

1. 首都高速6号三郷線、加平 I C から環七通りを東進、加平二丁目の交差点を右折して南進し、武道館北口交差点を左折200m(大型バスは不可)
2. 首都高速中央環状線、千住新橋 I C から国道4号へ、梅島陸橋を右折、環七を東進、以下、1と同様(大型バスは不可)
3. 大型バスの駐車及び武道館周辺での乗降はできません。

○歩行のマナー、以下の行為はおやめください。

- ・マンションなどの住宅敷地や駐車場への立ち入り
- ・集団で横に広がった歩行
- ・騒音（大声での会話・指示など）
- ・道路などへのゴミ捨て
- ・道路などでの喫煙・ポイ捨て

<綾瀬駅改札口付近での待合せはご遠慮ください。>